

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援ステーションキャンパス(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認が行えている。	毎朝打ち合わせ時間を設け、役割分担や支援内容、その日のご利用児の体調や療育実施上の留意事項等について情報を共有する事ができている。	継続して実施し、よりご利用児それぞれに合わせた支援が提供できるよう改善していきたい。
2	職員全体の専門的知識の向上	それぞれ、他分野での経験は豊富だが、福祉・療育の分野においては新たに経験を積んでいっている段階にある状況。より保護者のニーズに沿った支援が行えるよう、今後も各々経験を積み、スキルアップが必要。	年間計画に沿った施設内研修会の実施。 社内での新入職者研修の取り組みの継続。 各職種におけるカンファレンスの継続した実施。 外部研修会情報の共有や参加。
3	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	職種ごとのミーティング等、個別の話し合いを多く設け、情報共有を行っている。	他職種が在籍している強みを活かし、よりご利用児それぞれに適した療育を実施するために、職種ごとのミーティングを確実にし、その情報を支援会議内で共有する取り組みを継続して行いたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携についての支援	保護者会について、計画通りに実施することができなかった。保護者同士がつながれる機会を提供し、各ライフステージにおいて、時々悩みを共有し合える場を作っていく必要がある。	年に数回、茶話会やご家族も参加可能なイベントの機会を設け、保護者様同士の情報交換や交流の場としていきたい。
2	地域に開かれた事業所運営	お世話になっている地域の方々イベント時にプレゼントをお渡ししに行く等して交流を図っている。	イベントの際などに地域の方々をご招待することや、散歩の際にこども達とご挨拶をして回るなど、活動の中で交流の機会を設定していきたい。
3	公式ラインを活用し、保護者とのタイムリーな情報共有が行えているが、自己評価結果のHPへの掲載や感染症マニュアル等について、認知度が低め。	ご利用児に関して気づきがあった場合に、こまめに保護者へ情報の共有を行うことはできている。それ以外の連絡についても保護者へ確実に伝わるように複数の手段での伝達の見当が必要。	公式ラインでのタイムリーなご連絡は継続する。その他のご連絡については、公式ラインのみでなく、事業所の掲示板等にも見やすく掲示し、ご連絡を行う。